

## 2018年度ユニーク卒論

理工 学部

担当教員名	片寄 晴弘
論文執筆者名	浅倉 駿
論文の題 (テーマ)	Word2vec とトピックモデルを用いた Mr.Children の歌詞の傾向解析
簡単な内容 (概要)	<p>Pops において歌詞は極めて重要な役割を果たしている。自身が支持するアーティストの第一の理由として歌詞を上げるファンも少なくない。メロディや編曲と並び、アルバムごとに歌詞の変遷について語られることも少なくなく、それがファンにとって楽しみの一つにもなっている。本研究では、J-pop の中でトップアーティストとして知られ、また、作詞能力に対しても高い評価が与えられている桜井和寿 (Mr.Children) を取り上げ、これまで、主観的に語られてきた歌詞特徴の変遷を、最新のデータ分析技術を用いて定量的に分析を実施した。</p>
推薦の理由	<p>本研究では、桜井和寿氏 (Mr.Children) の歌詞のアルバム毎の特徴の変遷を、近年、SNS 上での発言 (ビッグデータ) の解析に活用されている IT 技術、Word2vec とトピックモデルにより分析・議論した。分析の結果、いわゆるラブソングから始まって、徐々に社会や人生を取り扱うものへと変遷していった状況、一般に暗いと言われていたアルバムがそう認識される理由、プロデューサとして Mr.Children を育ててきた小林武史氏から自立しようとしてきた状況が定量的に解析された。理工系の卒業研究としては、問題を解く際のグラフィカルモデル設定の部分に主張ポイントをおく研究であるが、それに加えて、人文社会系領域の研究テーマにおいて定量的な分析に基づいた議論を展開した部分がユニークで、かつ、評価されるべきポイントである。</p>